

大項目	IV 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画							
中項目	1. 予算 2. 収支計画 3. 資金計画							
事業名	予算、収支計画、資金計画							
【年度計画】								
1. 予算 別紙のとおり								
2. 収支計画 別紙のとおり								
3. 資金計画 別紙のとおり								
担当部課	本部事務局財務課			事業責任者	課長 瀬倉信康			
【実績・成果】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙「予算」に記載の予算額に基づき、28年4月1日付で当初予算配分を実施し、早期執行可能な体制を整備した。</li> <li>・年度内に新たに発生した法人全体又は各施設に関わる業務で緊急性且つ必要性が高いと認められた事業に関しては、理事長了解の下、予め本部で留保していた予算（理事長裁量経費）を該当施設へ速やかに予算配分することで業務遂行に支障をきたさない運営を実施した。</li> <li>・人件費にかかる予算は本部一括管理とし、役員会への上程を通して機構内で情報共有することで、厳格な執行管理を実施した。</li> <li>・第5回役員会（28年12月2日）において、本部で一元管理している予算の執行状況を報告し、予算を各施設へ再配分することで効率的な予算管理を実施した。</li> <li>・獲得した外部資金の中には精算払のものもあり、資金繰りの悪化が予想される施設には予め資金の貸与を行うことで法人全体として効率的な資金管理を実施した。</li> <li>・運営費交付金は四半期ごとの入金であるが、予め国へ四半期ごとの必要額を伝えることにより、計画的な資金管理を実施した。</li> </ul>								
【補足事項】								
・人件費予算の本部一括管理に関しては、28年度から変更した。27年度までの各施設ごとの管理から本部一括管理にすることで無駄のない効率的な運用が図られた。								
【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評価	経年変化	24	25	26	27
-	-	-	-	-	-	-	-	-
【年度計画に対する総合評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評価：B	概ね当初計画に沿った管理が行われている。また、年度内に起こった不測の事態や軽微な計画変更にも速やかに対応した。							
【中期計画記載事項】								
管理業務の効率化を図る観点から、各事業年度において、適切な効率化並びに積極的な自己収入の増加に向けた取組を踏まえた予算及び収支計画による運営を行う。								
【中期計画に対する評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評価：B	計画通り取組を実施している。							